

目標達成計画

作成日：平成 30年 1月 31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10 (6)	利用者とは日々の関わりの中で、家族とは面会時や電話連絡の中で意見要望を聞いているが、家族会はなく、家族からどこまで本音の意見が聞けているか事業所も確信が持てていない	年に一度施設で行なわれる「輝まつり」や季節毎に行なう行事に積極的に参加してもらえるよう家族に声をかける。その際に、家族会を立ち上げられるよう取り組んでいく	行事を行なう際には早めに電話連絡し、面会時にも参加してもらえるよう声をかけ、家族会について説明して理解を得る話し合いの場を持つ。家族が参加しやすい行事を考案する等の工夫をするほか、年に一度の輝まつりには家族の参加も多いことから、家族間で話し合える機会を作る	12ヶ月
2	35 (13)	施設の防災訓練に地元の住民の参加がない。また事業所も地域の防災訓練に参加していない	事業所の防災訓練時には積極的に地域住民に声を掛け、参加してもらえるよう取り組んでいく。また、地区長、民生委員に地区で行なわれる訓練実施日を確認して、利用者と共に参加していく	地区長、民生委員と日頃から連絡を取り合い、訓練が開催されるときには利用者が参加できるように取り組む。また、事業所で行なう訓練時には声をかけ、地域住民が参加できるように日程を調整する等して、協力体制を築いていく	12ヶ月
3	4 (3)	運営推進会議において事業所行事、利用者の状況については報告されているが、事業所課題が議題にあげられていない。会議録は詳細に記録されているが内容が分かりにくい。家族への送付も行われていない	運営推進会議には、毎回事業所課題を議題にあげていく。また、議事録に加え議題内容を分かりやすくまとめ、家族へ郵送していくように取り組んでいく	家族に運営推進会議へ参加してもらえるよう、積極的に面会時や電話連絡時に声をかけていく。その際に会議で話し合いたい内容や要望を聞き、事業所課題として取りまとめる。会議で話し合った内容は、今までの議事録に加えて、課題内容、検討内容を分かりやすくまとめたものを家族に郵送する	12ヶ月
4	45 (17)	午前・午後の入浴時間帯については利用者の希望に合わせているが、入浴の曜日、回数については希望をとっていない	入浴日や入浴時間は利用者の希望を聞き、週2回と決めるのではなく希望に合わせて入浴を楽しめるよう支援していく	職員の都合や業務中心ではなく利用者の希望に沿えるようにし、柔軟に対応できるよう職員間で話し合う。また、入浴を希望する利用者に偏りが出ないように支援していく	6ヶ月
5	40 (15)	月2回の昼食づくりでは、近隣商店等から材料を調達している。毎月開催の給食委員会では委託業者に要望を伝え、メニューと料理方法の改善には努めているが、利用者からの希望が十分に伝えられていない	委託業者にも利用者の希望を伝えてメニューを検討してもらうほか、昼食作りの回数を増やしたり、利用者が食事を楽しむことの出来るよう、職員とも話し合う	利用者には日々の関わりの中で食べたい物等希望を聞き、ノートにまとめる。月に一度の給食委員会時には委託業者に利用者の要望を伝えるようにするほか、食事作りも回数を増やすことを職員とも話し合っていく	6ヶ月
6	23 (19)	利用者個々から職員がその思いや意向を聞き、支援に反映させ口頭での情報共有はできているが、記録の整理が不十分。個々の介護日誌を日付を追って読み込まなければ把握できない	利用者の思いや意向を確認しやすいようにするため、記録用紙の改善を職員間で話し合い、情報共有しやすい形式にしていく	記録用紙を書き易く、かつ分かりやすい形式に改善するため、他事業所にも相談して、アドバイスをもらう。職員間でも話し合い、オリジナルの用紙を作成する	6ヶ月